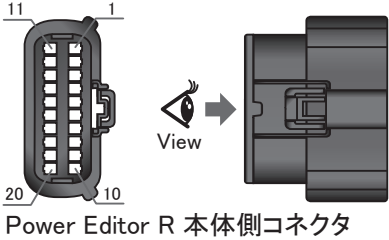


7. Power Editor Rの機能一覧

No.	機能	数	備考
1	電圧補正	4ch	入出力：0V-5V
2	パルス周波数補正	1ch	入出力：0V-5V、250Hz ～ 15KHz
3	回転信号入力（マップ軸）	1ch	入力：0V-5V 又は 0V-12V
4	車速信号入力（マップ軸）	1ch	入力：0V-5V 又は 0V-12V
5	スロットル信号入力（マップ軸）	1ch	入力：0V-5V、電圧補正 ch と共用
6	USB 通信	1 ポート	共用ポートのため排他使用
7	マップ A・B 切替え		

8. 接続ハーネスの準備

・ 接続ハーネスは、本製品を取付ける車両に適合するものを別途ご購入ください。



Power Editor R 本体側コネクタ

※ 接続ハーネスの各端子の機能は下表のようになっています。

Pin	機能	Pin	機能
1	電源（センサ 5V）	11	GND
2	電圧入力（1ch）	12	電圧出力（1ch）
3	電圧入力（2ch）	13	電圧出力（2ch）
4	電圧入力（3ch）	14	電圧出力（3ch）
5	電圧入力（4ch）	15	電圧出力（4ch）
6	追加インジェクタ信号	16	ー（防水栓）
7	エアフロパルス入力	17	エアフロパルス出力
8	回転信号入力	18	車速信号入力
9	USB D-	19	USB D+
10	USB 5V	20	USB GND

9. 取付手順

- ① 車両のエンジンを切り、10 分以上放置した後バッテリーのマイナス端子からケーブルターミナルを取外す。
※ 車両により 10 分では放置時間が足りずエラーが入る場合があります。
適宜放置時間を設けてください。
- ② Power Editor R 本体を任意の場所に設置・固定する。
※ エンジン本体などの高温になる場所や、直接水が掛かる場所を避けて設置してください。
※ 両面テープで固定する場合は貼付け面の汚れを落とし、よく脱脂してから貼付け、タイラップを併用し固定してください。
両面テープだけで固定すると、経年劣化などで剥がれた場合危険です。
- ③ Power Editor R 本体と接続ハーネスを接続する。
- ④ Power Editor R の接続ハーネスを各センサの配線に割込ませるように接続する。
- ⑤ Power Editor R の接続ハーネスは、走行に支障を来さないよう同梱のタイラップで固定してください。
※ ハーネスの取り回しは、エンジン本体など高温になる場所を避けてください。
- ⑥ 全ての配線が正しく接続できていることを確認後、バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルを取付ける。
- ⑦ 同梱の USB ハーネスで Power Editor R をパソコンに接続し、「Easy Writer for Power Editor R」を使用して補正するチャンネルを有効にしたデータを書込む。
※ 補正するチャンネルが無効設定のまま IG を ON にすると、車両側でエラーが入る場合があります。
- ⑧ IG を ON にし、Power Editor R 本体の LED が点灯することを確認する。
※ IG を ON にしても LED が点灯しない場合は、各コネクタが正しく接続されているか確認してください。

10. マップデータの書込み

- ・ Power Editor Rの接続ハーネスに、同梱のUSBハーネスを取付けパソコンと接続する。
 - ・ 「Easy Writer for Power Editor R」を使用してマップデータを書込む。
- ※ マップデータの作成・書込みの方法は「Easy Writer for Power Editor R」の取扱説明書を確認してください。

11. 故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合は、故障と判断する前に下記の症状と照らし合わせて、配線等の確認をしてください。
チェックランプが点灯するなどの異常が発生した際は、Power Editor R本体を取外し同梱の復帰コネクタを取付けてください。

症状	原因	対応
復帰コネクタを使用した状態でもチェックランプが点灯する	ハーネスが断線している 又は配線の接続部分が接触不良を起こしている	断線部分や接触不良部分を修正する
	コネクタが抜けかけている	各コネクタのロックが掛かる状態までしっかり差し直す
Power Editor Rを接続している時だけチェックランプが点灯する 又はブーストが上がらない	Power Editor R本体が故障している	Power Editor Rの検査を依頼する （お買い上げの販売店まで） （お問い合わせください）
	書込んだセッティングデータが車両に合っていない	再度現車セッティングを行う
Power Editor R本体のLEDが点滅している	セッティングデータを書込んだ際、正常に書込みが完了しなかった	Easy Writer for Power Editor Rを使用し、再度データを書込む

12. 異常・故障時の対応

⚠ 警 告
●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

⚠ 注 意

- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、「保証登録」完了後、お買い上げの販売店にシリアルNo.をお伝えの上、修理を依頼してください。詳しくは「17.保証について」をご覧ください。

13. アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせ、及び紛失部品等の購入、保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意等により修理が必要となった場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

14. 本製品の仕様

- 動作保証電圧 …………… DC5V～16V
- 動作可能温度 …………… -20～100℃
- 外形寸法 …………… 105 × 92 × 35mm

15. 用語の説明

- 専門業者 …… お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
コードNo. …… H K S 製品及び部品を注文する際に使用する番号。
ユーザマニュアル …… お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
点検・整備 …… 安全に運転するために、本製品及び自動車全体の機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。
日常点検 …… 自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目は、ユーザマニュアルに従ってください。
高温になる場所 …… 温度上昇の高いところ。
例、エンジン本体や排気系部品の近傍。
誤使用 …… 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。

16. 改訂の記録

Ver.	年 / 月	記載変更内容
3-1. 01	2025/2	初版